

令和6年度 長崎県立諫早商業高等学校 職員自己評価表

教育方針	①商業の知識と技術を習得させ、時代の変化に順応し創造できる力と、共創しながら社会に貢献できる力を育成する。 (商業科) ②専門学科で培った知識や技能を活用し、共生社会の担い手としてグローバルな視点で他者と共創できる力を育成する。 (国際コミュニケーション科) ③高度IT社会で活躍するために必要な基本的知識・技術を習得させ、実践的な活用能力を育成する。(情報科)
教育目標	(1) 専門的・実践的な知識・技能を活かしながら、周囲と協働し論理的に課題解決策を他者に発信できる力を育み、将来、ビジネス社会のリーダーとして活躍できる人材を育成する。 (2) 一人一台端末を積極的に利用しながら個々の生徒の情報活用能力を高め、自ら学ぶ姿勢を育てる。また、礼節を重んじ伝統を重視し、部活動と学習の両立を奨励して文武両道の精神を養い、地域に信頼される学校を目指す。 (3) 地域の企業との協働学習に取り組み、より実践的な学びを実践する。また、外国語学科を持つ本校の強みを活かし、所属するALT(英語、中国語)および講師(韓国語)による「世界の文化等について」特別授業を実施してグローバルな視点の育成を図る。
キャッチフレーズ	Change & Challenge
重点目標	○主体的・対話的で、お互いに深め合う学びの充実 ○自他の尊重、社会連携の精神の涵養と共生社会に必要な能力・態度の育成 ○生徒主体の学校づくり ○安全・安心な学習環境の整備と施設設備の有効活用

【評価分野】 1 学校経営					
評価項目	具体項目	目標	具体的方策	評価	
				昨年度	今年度
①学校教育目標	学校教育目標の具現化	学校の実態に即した目標が設定され、教師間の共通理解のもとに、教育目標の具現化を図る。	前年度の本校教育課題や生徒の実態を踏まえた適切な重点目標を設定する。	3.2	3.3
			校務分掌及び学年の経営方針にも学校教育目標を具現化する方策を盛り込んで実践する。	3.4	3.4
			目標達成の度合いを年度途中で評価・確認する機会を設け、その後の教育活動に生かす。	3.2	3.3
②学校経営方針	経営方針の明確化とその実践	経営方針が学校内に明確に示され、教職員間の相互理解と保護者・地域の支持に基づく教育活動を行う。	本校の教育課程を明確にして、中期的な学校ビジョンを検討する。	2.9	2.9
			各教職員が経営方針を意識して教育活動を展開する。	3.3	3.3
			教育方針や経営方針を生徒・保護者・地域等に説明したり、情報を流し、宣伝したりする機会を設ける。	2.5	2.7
③学年経営	学年目標の具現化	学校目標に沿った学年目標による経営を行う。	学年目標を教員・生徒へ浸透させ、その目標達成のための教育活動の展開を図る。	2.8	3.1
④学級経営	学級目標の具現化	学校目標及び学年目標に沿った学級づくりを行う。	学校目標や学年目標に沿って、学級の実態に応じた学級目標を設定し、学級経営を行う。	2.9	2.9
【評価分野】 2 教育活動					
評価項目	具体項目	目標	具体的方策	評価	
				昨年度	本年度
①教科指導	分かる授業の展開と工夫・改善	指導方法に創意工夫がなされた授業を行う。	生徒の実態に応じて教材を精選し教育機器等を用いるなどして指導方法を工夫する。	3.3	3.4
	適切な学習評価		習熟度・添削等、個に応じた指導を行い、学力向上に取り組む。	3.2	3.4
	学習意欲や教科に興味関心を喚起させる授業の展開と工夫	生徒の実態に応じて教材の精選や工夫、教具の活用を行う。	生徒の家庭学習時間を一日平均60分以上にする。	2.0	2.1
			各種検定の合格率を上げ、生徒全員が2種目以上の資格を取得できるようにする。	2.8	2.9

評価基準： 4. 十分達成している 3. おおむね達成している 2. どちらかというと達成されていない 1. ほとんど達成されていない

【評価分野】 2 教育活動 (前ページより続く)					
評価項目	具体項目	目 標	具体的方策	評 価	
				昨年度	本年度
②課題研究 (総合的な学習)	ねらいが明確で創意工夫を生かした学習活動	教職員の共通理解のもと適切な評価を行う。	課題研究・総合的な学習は地域や学校の特性を生かしたものにする。	2.7	2.5
③特別活動	HR活動の充実	生徒の自発的・自主的な活動を行う。	年間計画に基づいたHR計画を立て事前準備を行い、活発なHRを展開する。	2.4	2.5
④生徒指導	基本的生活習慣の確立	生徒理解に基づき、全教職員できめ細かな生徒指導を行う。	年間生徒退学者数を、3名以内にする。	3.0	2.9
			生徒の面談を各学期に1回以上行う。	2.7	2.8
			礼法指導をとおしてマナー指導を徹底する。	3.2	3.1
⑤進路指導	進路指導の充実	系統的・計画的な進路指導を行う。	卒業時に生徒の進路目標を100%達成する。	3.1	3.3
			企業求人増加を目指し積極的に活動する。	3.2	3.4
⑥健康・安全教育	健康や安全に対する態度の醸成	健康・安全な生活を送るための指導を行う。	身の回りの安全と健康に配慮しながら心身ともにたくましく育て、欠席者を減らす。	3.0	3.1
⑦人権教育	人権尊重に対する普遍的価値観の醸成	カウンセリング・マインドを持って生徒の相談に応じる。	人権に対する認識を高め、生徒・保護者との信頼関係を作り上げる。	3.2	3.2
			いじめなどの問題行動等について、積極的かつ適切に対応する。	3.5	3.4
⑧部活動	部活動の活性化	部活動への参加を奨励し、活発な活動を行う。	生徒の部活動所属率を80%以上にし、部活動を活性化する。	2.9	2.9
【評価分野】 3 組織運営					
評価項目	具体項目	目 標	具体的方策	評 価	
				昨年度	本年度
①校務分掌	適切な役割分担・組織的な活動と運営	各分掌の業務を均等化する。	前年度の各分掌の課題を確認し、その課題解決を図り検証する。	2.9	3.0
			教職員の分掌による仕事量をできる限り均等化する。	2.7	3.0
②校内研修	研修体制の確立と実践	各種の校内研修を計画的に実施して職員の意識を高める。	各学期に1回以上、各分掌や各教科において、研修会等を実施する。	2.9	3.0
③現職教育	教職員の資質向上への取り組み	計画的・組織的に授業研究等を行い、生徒に分かる授業を展開する。	公開授業や研究授業を各教科において学期に1回実施する。	1.7	2.1
④いじめ対策	組織的な対応	いじめ対策強化	いじめ対策基本方針に基づき、いじめの早期発見と対応を行う。	3.4	3.4

評価基準： 4. 十分達成している 3. おおむね達成している
2. どちらかというと達成されていない 1. ほとんど達成されていない

【評価分野】 4 教 育 環 境					
評価項目	具体項目	目 標	具 体 的 方 策	評 価	
				昨年度	本年度
①学校環境の整備	潤いのある生活環境の整備	日々の清掃を徹底し美化意識を高める。	地域清掃活動を学期に1回以上行い、ボランティア意識を高める。	3.3	3.2
②施設・設備の管理	施設・設備の定期点検及び経費の節減	施設・設備の有効な活用が図られ、安全点検等の管理を適切に行う。	施設・設備の定期点検を学期に2回以上行い環境整備に努める。	3.1	2.9
			光熱水費・通信費を前年比の-5%に抑える。	2.9	3.3
③情報インフラの整備・充実	教育活動全般の情報化	パソコン等を使った校務処理を適切に行う。	コンピュータを操作できる教員を100%とし、指導に生かす。	3.4	2.7
	ホームページの更新	ホームページを見やすくし定期的に更新する。	ホームページの更新を毎月1回以上行う。	3.2	2.2
【評価分野】 5 開かれた学校づくり					
評価項目	具体項目	目 標	具 体 的 方 策	評 価	
				昨年度	本年度
①保護者との連携	PTA活動の充実	生徒に関する情報の相互交換を密にする。	学校便りや学年通信を作成し、学校の教育方針や具体的活動についての情報を提供する。	2.5	2.4
		学校方針や具体的教育活動についての情報を保護者等へ積極的に提供する。	PTA活動を活性化し、総会・評議員会や学校行事への参加を促し、学校運営に反映させる。	2.3	2.4
②地域や関係機関との連携	連携の充実	関係機関との連携を図る。	近隣地域の高校・小中学校・関係機関との情報交換や連携を図る。	2.4	2.9

評価基準： 4. 十分達成している 3. おおむね達成している
2. どちらかというど達成されていない 1. ほとんど達成されていない

【成果と課題等】

重点目標(1)対話的な活動に生徒たちは順応できている。主体的な学びにつなげる授業づくりに発展させたい。また、課題に取り組む時間の確保と質と量、専門的知識・技術の習得を確実にする取り組みが急務である。

重点目標(2)自己理解・他者理解が十分になされておらず、対人関係で躓いてしまう生徒に事後指導で対応している。今後は、入学時からの支援・指導の充実が必要である。

重点目標(3)各行事については、生徒会役員を中心に生徒主体で運営がなされている。行事以外の学校生活全般での生徒の自律的活動を促すことで生徒の自己管理能力の向上を図りたい。

重点目標(4)生徒のタブレットの不具合やプロジェクタの故障などICTの活用を支障をきたすことが多かった。生徒の学びを中断させることがないよう様々な事業を活用することで整備の充実を目指す。